

令和2年9月30日

各位

日本ジェネリック製薬協会（GE 薬協）

**ジェネリック医薬品シェア分析結果（速報値；令和2（2020）年度 第1四半期）
について**

標記について、以下のとおりまとめましたのでご案内申し上げます。

**■令和2年度第1四半期（2020年4月～6月）の
ジェネリック医薬品（GE 医薬品）の数量シェア分析結果（速報値）**

第1四半期の数量シェア
79.3%

【参考】

（1）四半期ごとの GE 医薬品数量シェア分析結果の推移 [速報値]

期間	平成31(2019)年度			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
数量シェア	75.8%	76.9%	77.1%	78.5%

Q:四半期

（2）四半期ごとの GE 医薬品数量シェア分析結果[速報値]は、GE 薬協理事会社からの出荷数量をもとに、IQVIA 社のデータを加え推計した値である。

（3）シェアの計算方法：

$$[\text{GE 医薬品のシェア}] = \frac{[\text{GE 医薬品の数量}]}{[\text{GE 医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{GE 医薬品の数量}]}$$

【照会先】
日本ジェネリック製薬協会
電話 03 3279 1890

2020年9月にあって

- この約20年の間、ジェネリック医薬品については、医療関係者、保険者、行政関係者をはじめ様々な立場の多くの方々の取組みにより、その数量シェアが伸長してきました。改めて、関係の方々のご努力に敬意と感謝の意を表したいと存じます。

- 直近の弊協会調査(平成2年度第1四半期(4月～6月))において、ジェネリック医薬品数量シェアは79.3%となり、80%が間近に迫っています。
2017年6月の閣議決定「経済財政運営と改革の基本方針2017」においては、「2020年9月までに、後発医薬品の使用割合を80%」とするとの記載がなされました。2020年9月時点の政府の公式な数量シェア値が判明するまでには、なお時間を要するものと承知していますが、この9月は一つの区切りと考えております。

- 今後のジェネリック医薬品のシェア推移は簡単には予見できませんが、弊協会及び会員企業としては、ジェネリック医薬品への一層のご理解増進と使用促進への取組み、並びに「製品の安定供給」、「品質に対する信頼性の確保」、「情報提供の充実」へ向けた不断の努力を続けてまいります。その過程で、政府目標をクリアすることができれば大変嬉しく存じます。

2020年9月30日

日本ジェネリック製薬協会